

ボイスドラマ

春の君に言いたいこと



〈登場人物〉

財前美春（ざいぜんみはる） 16歳

財閥を有する財前家の長女であり、次期後継ぎ候補の一人。現在、執事長とメイドの美咲と暮らしている。教養などがしっかりしている分、人と接することが少なかったこともあり、気付いていない天然な部分が多い。

美咲（みさき）？歳

孤児院から引き取られた少女。年齢は不明。幼い頃から美春と共におり、お世話係として働いている。今はメイドとして、美春の生活の一切を（勝手に）任されている。

王子光（おうじひかる） 16歳

一般人代表。自分に取り柄がないと思っており、人に優しくすることが、唯一自分にできることだと思っている。それ故、困っている人を放っておけない性質で、知らない人でも話しかけられるメンタルを持っている。

比嘉美那子（ひがみなこ） 16歳

島育ちの活発な女の子。光の向かい側に引っ越してきたが、元いた学校などへの寂しさから、外へ出られなくなっていった時に、光と知り合い、遊ぶようになった。光のことが気になっている。

優雅な BGM (BGM①)

賑やかな屋敷の大きな扉を開ける音が聴こえ、美春がリビングへと入ってくる。メイドの美咲はそれを迎え入れる。

シーン1 〈美春の朝〉

美春 おはよう、美咲。

美咲 おはようございます、美春お嬢様。

美春 じいやからの連絡は？

美咲 まだです。おそらく8時前後になるかと。

美春 そう。なら一度部屋に戻るわ。

美咲 お着替えを。

美春 それぐらい自分でやるわよ。もう高校生なんだから。

美咲 お言葉ですが…お嬢様のお着替えをお手伝いする、というのも、

私の業務内容に含まれておりますので。

美春 それ、一度見直してもらった方がいいわよ…？

美咲 つまりお着替えを手伝わなければ、私はお仕事を怠ったことになるのです。

そうなれば私は職を失いまた露頭に迷うことになり…

(BGM① out)

美春 あーもうわかりました！早く行きましょう！

美咲 はい、お嬢様。

【可愛い転換のSE】

美咲 お着替え完了いたしました。

美春 ありがとうございます。…自分で制服を着替えられないみたいで少し恥ずかしいのだけど…

着替えを完了し、リビングへ戻ってくる美春と美咲。

【黒電話のSE】

美春 あら？もしかして…

美咲 お嬢様、執事長から電話が。

美春 ええ、そのよね。行きましょう美咲。

美咲 はい、お嬢様。

春の穏やかな雰囲気の

BGM (BGM②)

全員 タイトルコール

美春 財前美春。(自分の名前)。

美咲 美咲。(自分の名前)。

王子 王子光。(自分の名前)。

比嘉 比嘉美那子。(自分の名前)。

(BGM② out)

シーン1 終

朝の登校、晴れた道路を歩く陽気な BGM (BGM③)

光が家から出ると、それほど同時に、向かいに住んでいる比嘉美那子が出てくる。駆け寄ってきて、光に挨拶をする。

二人は歩きながら話している。

シーン2 〈王子と比嘉〉

王子 行ってきまーす！

比嘉 光！おはよう！

王子 美那子、おはよう。偶然だね。

比嘉 家目の前だし、同じ学校なんだから、偶然も何もないよ。

それに、あの子もまたいるかもだし…

王子 え？

比嘉 ううん、なんでもない。まあ部活とか入ったら変わるんじゃない？

王子 部活かー。確か来週とかだよな？入部の締め切り。

比嘉 全体のやつはねー。途中入部もアリらしいけど、やっぱり最初からいた方が肩身狭くならなくていいと思うからさ。

王子 そうだね。美那子は目星あるの？

比嘉 まだ特にないだよね…私、中学の時も部活やってなかったし。

王子 二人して帰宅部だったね。

比嘉 そう。でも、ちよつともつたいなかったかもつて。

王子 もつたいない？

比嘉 うん。部活やってたら、もつと面白いことあったんじゃないかって。

だから高校ではそれをちゃんと探そうつて思ってるんだ。

王子 高校デビューつてやつだね！

比嘉 それはちよつと違うんじゃないかな…？とりあえず、何かやってみたいんだよね。

王子 いいじゃない！僕も美那子ぐらいやる気出さないと…

比嘉 同じ部活でも入る？

王子 アリかも！男女一緒なら…軽音部とか？

比嘉 高校生っぽいよね！なんか楽器できるんだっけ？

王子 ピアノはちっちゃい頃やつてたよ！

比嘉 …まあ使えなくはないぐらいだね。

王子 他に文化部だったら…

(BGM③) カット out)
途中にある十字路に差し掛
かったところで、声をかけ
られ、立ち止まる光と比嘉。
美春と、日傘を美春に向け
ている美咲に会う。

明るくポップな雰囲気

BGM (BGM④)

比嘉 あ、じゃあ昼休みまた相談しようよ！職員室前の廊下に掲示板があつて、

そこにチラシとかいっぱいあるらしいよ！

王子 そうだね！もしかしたら他にも面白そうなのもあるかもしれないし。

比嘉 とりあえず来週までは、もうちょっとゆっくり考えて…

美春 王子君、おはようございます。

比嘉 げ！この声は…財前美春…！

美春 あら、比嘉さんもいらつしやったんですね。おはようございます。

王子 おはよう財前さん。美咲さんもおはよう。

美咲 おはようございます。

王子 また一緒になるなんて、すごい偶然だね。

比嘉 偶然―？もう一週間も同じところで会ってるけど？

美春 それは珍しいことなのでしょう？

比嘉 珍しいも何も、普通ありえないでしょ！

美春 同じ学校に通うのですから、道が同じなのは当然では…？

比嘉 それはそうなんだけど…毎回同じタイミングで会うのは絶対おかしいでしょ…

美春 それに、誰かと一緒にだと心強いです。

また道に迷ってしまうかもしれないので…

王子 あはは、それはそうだね。

美春 その節はありがとうございました。

王子 いえいえ、当然のことをしたまだよ。

比嘉 道に迷った財前さんを、学校まで案内してあげたんだっけ？

美春 この辺りを歩いて移動したことがなく、地図も読めない私を助けてくれたんです。⁸

王子 困ってそうだったし、同じ制服だったから、声をかけたんだよ。

比嘉 それだけ？可愛い子がいるからって声かけたんじゃないの？

王子 そ、そんな下心は無かったよ！

比嘉 ふーん。

美春 その話をしたら、美咲が付いてくれるようになったのですが、どうもまだ慣れず、

と一緒にさせていただけると嬉しいのですが…やはりご迷惑でしょうか…？

(BGM④ out)

歩き出す4人。

王子 全然大丈夫！ね、美那子！

比嘉 まあいいけど…

美春 嬉しいです。ありがとうございます。

王子 財前さんは隣のクラスだったよね。少しは慣れた？

美春 それが…私、教室で誰かと勉強を共にするのは初めてで…

比嘉 え！？今まで学校行ってなかったってこと！？

美春 はい。専属の家庭教師に教わっていたものですから。

比嘉 なんか、本当にお金持ちなんだね…

王子 じゃあ、慣れるまでは大変そうだね。

美春 はい…なので…その…

王子 ん？ああ！もちろん、困ったことがあつたら何でも言っ

美春 あ、ありがとうございます。

比嘉 光だってそんなに友達いなくせに。見栄張っちゃって。

下駄箱にたどり着き、二人
と別れる美春と美咲。
それを見送る光と比嘉。

王子 それは言わない約束！

美春 では、私は職員室に用事がありますので、お先に失礼いたします。

美咲 失礼いたします。

王子 またねー。

比嘉 ……思ったんだけど、うちの学校ってメイドありなの？

王子 さあ？

シーン 2 終